

新基地建設反対名護共同センターニュース

今年最後のゲート前県民行動に 230 人余参加



オール沖縄会議は19日、毎月第3木曜日の県民大行動を展開し、うるま市や沖縄市の島ぐるみなどから230人余りが参加しました。ゲート前ではヘリ基地反対協の仲本眞事務局長などが司会し、「違法工事は中止せよ!」などとシュプレヒコールを繰り返しました。午前9時頃、コンクリートミキサー車やダンプなど数十台が国道に数珠つなぎになり、機動隊員が座り込む人々を排除し始めましたが、午前の車両の基地内への搬入終了は午前10時過ぎまでかかりました。

10時半からテント村で交流会を開き赤嶺衆院議員とオール沖縄会議・中村司事務局次長があいさつ、北上田毅氏が基地建設工事の状況報告をしました。これまで毎週木曜に「軍隊は住民を守らない」のテーマでミニ講演を約百回も担当した元教員の村上有慶さんへヘリ基地反対協からお礼の記念品が贈られました。

「違法工事は直ちに中止せよ!」
県民はあきらめない 勝つまで闘う

赤嶺衆院議員が
テント村で激励



オール沖縄が野党共闘を促進
赤嶺政賢衆院議員が19日、ゲート前テント村で「現場でのオール沖縄の不屈のたたかいが全国を激励し、野党共闘を発展させている。今、桜を見る会などで野党が結束し安倍政権を追い詰めている。安倍内閣を総辞職に追い込み、来年6月の県議選ではデニー県政の与党を圧勝させましょう」と訴えました。

「殺してはならぬ。殺さしめてはならぬ」 「念仏者9条の会」が新基地建設に抗議

「念仏者9条の会」に所属する東西の本願寺の住職と信徒・計12人が18、19日、名護市安和と辺野古ゲート前で辺野古新基地建設への抗議活動に参加しました。住職の一人は、「親鸞聖人の殺してはならぬ。殺さしめてはならぬ」という「非戦」の教えに反し、戦前、戦争を賛美し協力した反省から、浄土真宗に生きるものとして憲法9条改悪反対に立ち上がった。戦争につながる辺野古新基地建設にも反対です」と訴えました。



名護市安和の琉球セメント棧橋前で新基地建設反対と訴える「念仏者9条の会」の住職

2020年初御興 (はちうくしー) のご案内

初御願は、辺野古住民の間で伝統的におこなわれている神聖な行事で、地元の長老を先頭にしてニライカナイの神様に平和と繁栄、五穀豊穡を願うものです。沖縄舞踊「かぎやでい風節」などの三線演奏に合わせ踊ったり、全員でカチャーシーを踊るなど楽しくなごやかに過ごされます。



日時・2020年1月1日(水)
午前7:00~8:00
場所・名護市「辺野古の浜」
連絡先・東恩納 琢磨(名護市議)
☎090-9786-9471

たたかいのドラマに涙 共産党川崎後援会の15人



神奈川県共産党川崎後援会のツアー15人が13日、名護共同センターで「辺野古のたたかいの歴史と現状」をスライドでレクチャーを受けました(写真)。23年前におじい、おばあちがたたかひに立ち上がったドラマや前翁長知事が命を懸けて埋め立て承認を撤回した場面では涙を流しながら聞き入っていました。

講演終了後、ある男性は「闘いの歴史のドラマに感動しました。最高でした!」と笑顔で話していました。

一行はこの後、瀬嵩の浜や辺野古の工事現場で説明を受け、「道の駅かでな」経由で那覇に向かいました。

お知らせ!

今年最終号ニュース No. 278 です。ご愛読に感謝します。新年は当事務所もゲート前も1月6日から稼働します。良いお年を!

「オール沖縄」主催のゲート前の新年最初の第1土曜日県民大行動は、4日ではなく1月11日(土)午前11時からです。